



今日のキーワード 『クラウドゲーム』で提携が加速

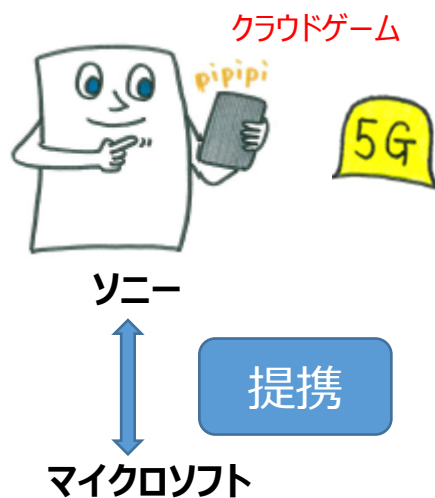
ネット経由でコンテンツを配信し、ユーザーが専用ゲーム機・ゲームソフト不要でプレイできる『クラウドゲーム』に対する注目が高まっています。『クラウドゲーム』は次世代通信規格「5G」が普及すれば、市場が拡大すると期待されています。こうした状況を受けてゲーム専用機で長らく競合していたソニーとマイクロソフトが『クラウドゲーム』で提携を発表しました。提携の動きは今後加速するとみられており、その動向が注目されます。

ポイント1 『クラウドゲーム』の普及を次世代通信規格「5G」が後押し

- 『クラウドゲーム』は、ゲーム供給会社がネット経由でコンテンツを配信し、データセンター側で処理を行うため、ユーザーは専用のハード・ソフト不要でプレイできる点に特徴があります。現在の通信技術では通信の遅延などが問題となっていますが、「5G」が普及すれば、問題が解消され市場が拡大するとみられています。

ポイント2 『クラウドゲーム』でソニーとマイクロソフトが提携

- ゲーム事業が連結利益の約3割を占めるソニーは、5月17日に、ゲーム専用機で競合関係にあったマイクロソフトとクラウドサービスや人工知能（AI）分野での提携を発表しました。ゲームソフトをネット配信するクラウドサービスで共同開発に乗り出します。この背景には、「5G」普及後の『クラウドゲーム』台頭への対応や、世界中を結ぶデータセンターを有し年内に『クラウドゲーム』の商用サービスを開始するグーグルなどに対抗する目的などがあります。
- ゲーム事業では今回の提携は『クラウドゲーム』の分野にとどめ、ソニーは「プレイステーション」、マイクロソフトは「Xbox」のブランドで、ゲーム機やゲームソフトは今後も両社が独自に展開します。ソニーが世界シェアの約5割を持つ画像センサー半導体とマイクロソフトのAI技術の連動も検討します。



今後の展開 『クラウドゲーム』で提携が加速

- ゲームは、専用機が中心でしたが、その後スマートフォン向けゲームが拡大しました。今後は普及には一定の時間はかかるものの、『クラウドゲーム』にゲームの競争軸が移っていき、多くのユーザーとデータセンターなどの設備を抱えプラットフォームを提供するグーグルやアップルなどの競争が始まると考えられます。自動運転分野で従来の垣根をこえた連合づくりが進むように、ゲーム業界でも垣根をこえた提携が加速していくとみられます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも
チェック!

2019年6月11日 『5G』開発、中国で加速。米中の競争激化
2019年5月17日 『5G』が米韓で開始、自動運転・AIにも期待

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。